

令和5年度入学試験問題

数 学

(数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入ください。
3. 解答用紙は5枚です。
問題番号の印刷してある解答用紙に解答ください。
4. 各解答用紙には受験番号を記入する欄がそれぞれ2箇所あります。2箇所とも記入ください。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りください。

1 以下の問いに答えよ。

問 1 自然数 a で

$$a \leq \sqrt[3]{10} < a + 1$$

となるものを求めよ。

問 2 a を問 1 で求めた値とする。さらに b を 0 以上 9 以下の整数とすると、

$$a + \frac{b}{10} \leq \sqrt[3]{10} < a + \frac{b+1}{10}$$

となるような b を求めよ。

2 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_n = 2 \cos \frac{\pi}{2^n} (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める。以下の問いに答えよ。

問 1 2 以上のすべての自然数 n について

$$a_2 \times a_3 \times a_4 \times \dots \times a_n \times \sin \frac{\pi}{2^n} = 1$$

となることを、数学的帰納法を用いて示せ。

問 2 極限值

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(\frac{a_2}{2}\right) \times \left(\frac{a_3}{2}\right) \times \left(\frac{a_4}{2}\right) \times \dots \times \left(\frac{a_n}{2}\right)$$

を求めよ。

3 $OA = OB = AC = BC = 3$, $OC = AB = 2$ である四面体 $OABC$ を考える。
 $\vec{a} = \vec{OA}$, $\vec{b} = \vec{OB}$, $\vec{c} = \vec{OC}$, また 3 点 O, A, B が定める平面を α とするとき、
以下の問いに答えよ。

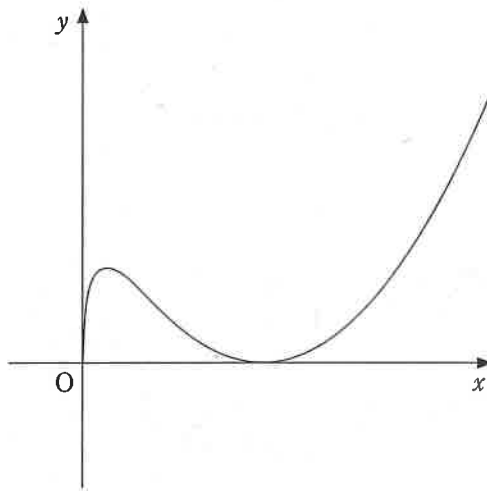
問 1 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ および $\vec{a} \cdot \vec{c}$ をそれぞれ求めよ。

問 2 $\vec{OP} = p\vec{a} + q\vec{b}$ とする。 \vec{CP} が平面 α に垂直となるように、 p, q の値を定めよ。

4 $f(t) = e^t$, $g(t) = t^2 e^t$ とし, t がすべての実数を動くとき

$$\begin{cases} x = f(t) \\ y = g(t) \end{cases}$$

で与えられる曲線を C とする。この曲線 C の概形は下図である。



以下の問いに答えよ。ただし, e は自然対数の底である。

問 1 曲線 C 上の点 $P(f(t), g(t))$ で曲線 C に接する接線の方程式を t を用いて表せ。

問 2 問 1 において $t = -1$ としたときの接線を l とする。接線 l と曲線 C の交点は (e^{-1}, e^{-1}) のみであることを示せ。

問 3 曲線 C と問 2 の接線 l および直線 $x = 1$ で囲まれた部分の面積を求めよ。

5 関数

$$f(x) = \frac{x^2}{1 + e^x}$$

について,

$$g(x) = f(x) + f(-x), \quad h(x) = f(x) - f(-x)$$

とおく。以下の問いに答えよ。ただし、 e は自然対数の底である。

問 1 定積分

$$\int_{-1}^1 g(x) dx$$

の値を求めよ。

問 2 $h(x)$ は奇関数であることを示せ。

問 3 定積分

$$\int_{-1}^1 f(x) dx$$

の値を求めよ。